

# 衆議院国土交通委員会ニュース

平成 29.5.17 第 193 回国会第 16 号

5 月 17 日（水）、第 16 回の委員会が開かれました。

## 1 港湾法の一部を改正する法律案（内閣提出第 60 号）

- ・石井国土交通大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・本村伸子君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成—自民、民進、公明、維新、野間健君（無） 反対—共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 津 島 淳君（自民）

- ・全国的なクルーズ船寄港増加につなげるため、広域的にクルーズ拠点港及びそれ以外の港が連携する施策の必要があると考えているが、見解を伺いたい。
- ・「訪日クルーズ旅客を 2020 年に 500 万人」とする政府目標を達成するため航空や新幹線など他の交通手段との連携を行うことが必要と考えるが、見解を伺いたい。
- ・非常災害時における港湾施設の活用を実効あるものにするため、陸海空の相互連携が不可欠と考えるが、見解を伺いたい。

### 佐 藤 英 道君（公明）

- ・地方創生のためにもクルーズ船の受入れ拡大が重要と考えるが、我が国港湾へのクルーズ船寄港の現状と今後の見通しを伺いたい。
- ・「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾として本年 1 月に 6 港が選定されているが、6 港以外に追加指定がありうるのか。
- ・平成 28 年熊本地震時における港湾の状況及び今回の法改正により創設される非常災害時における国土交通大臣による港湾施設の管理制度の具体的な内容を伺いたい。

### 本 村 賢太郎君（民進）

- ・「訪日クルーズ旅客を 2020 年に 500 万人」とする政府目標を達成するためには欧米からのクルーズ旅客の誘致が必要であると考えているが、見解を伺いたい。
- ・クルーズ船寄港増加に伴う密輸等海上犯罪への水際対策や、シージャック等テロ等への海上保安庁の対応はどのようになっているか。
- ・非常災害に対応するため、港湾管理者においては関係者との日頃の連携や防災訓練が重要であると考えているが、見解を伺いたい。

### 黒 岩 宇 洋君（民進）

- ・「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾の選定のない日本海側や東北地方においてもクルーズ船受入拠点整備が必要であると考えているが、見解を伺いたい。
- ・国際旅客船拠点形成港湾の指定に当たりクルーズ船社の意向が尊重されることにより、クルーズ拠点が偏在化する懸念はないか。
- ・岸壁の優先予約が直前キャンセルされることが他社への営業妨害となることが懸念されるが、直前のキャンセルを繰り返すなどの悪質な行為に対して協定解除を行うことは可能か。

### 水 戸 将 史君（民進）

- ・今後、訪日クルーズ船の寄港が更に増加するものと考えているが、テロ対策強化の必要性についてどのように考えているのか。
- ・4 月 29 日の北朝鮮のミサイル発射実験に伴い、日本海周遊クルーズ船の運行等に何らかの影響があったかどうか確認したい。また、有事の際に備え、国土交通省においてクルーズ船の運行停止基準等を作成しているのか。
- ・横浜港の LNG 燃料供給拠点化に向けた取組の進捗状況及び今後の見通しについて伺いたい。また、将来的な LNG 燃料船の増加を見据え、世界に先駆けて LNG 燃料供給拠点を整備する必要があるのではないか。

### 本 村 伸 子君（共産）

- ・訪日クルーズ船の寄港数が増加することに伴う安全対策について、事故の未然防止方策はどのようになっているのか。また、クルーズ船からの海洋及び大気の汚染対策についても伺いたい。
- ・国際旅客船拠点形成計画の策定及び官民連携国際旅客船受入促進協定の締結に当たり、港湾労働者、地元商店街、

- 住民の声を反映する場を設ける必要があるのではないか。
- ・今回の改正により、非常災害時における国土交通大臣による港湾管理制度が創設されるが、港湾法制定以来、港湾管理者を地方公共団体及び港務局に限定し国を除いてきた理由を伺いたい。

### **清水 忠 史君（共産）**

- ・今後寄港が増加するクルーズ船への対策としては、埠頭の整備、岸壁の延長等受入れ態勢の整備で足りると考えるが、法改正がどうして必要なのか。
- ・法改正の内容は、自らの投資によって旅客施設等を整備する者に岸壁の優先使用を認めるというものだが、特定のクルーズ船社に岸壁等の優先的な使用を認めることは港湾法に規定する不平等な取扱の禁止に反するのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- ・今回の法改正は港湾法制定時の理念そのものに反し、また企業の公正な自由活動への干渉となると考えるが、大臣の見解を伺いたい。

### **井 上 英 孝君（維新）**

- ・国際旅客船拠点形成港湾に指定された6港湾とその他の港湾で2020年に訪日クルーズ旅客500万人の達成は可能なのか、更なる指定の必要はないのか大臣の見解を伺いたい。
- ・国際旅客船拠点形成港湾の指定にあたっては地域間のバランスを具体的にどのように考えているのか。「国際クルーズ拠点」の全国的な展開に向け、日本海側、東北・北海道、関西方面の港湾の今後の指定についてどのように考えているのか。
- ・クルーズ船の寄港による経済的効果が期待通りのものとならない場合が考えられるが、国土交通省は経済波及効果の分析を自治体へ示しているのか。また、経済効果が見込めない場合どのように対応するのか。